

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会  
令和2年度事業実施報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

鳥取県は、全国の中でも少子高齢化の進行が速く、労働力の減少が続いていることから、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっている。

県内の景気は、令和2年当初以降新型コロナウイルス感染症が拡大していったことに伴い、経済指標の一つである有効求人倍率が、令和元年12月までは1.7倍前後で推移していたが、令和2年1月以降急激に下降し、令和2年5月以降は1.2倍前後で推移している。直近では令和3年2月分が1.26倍と若干上昇した。有効求人数は減少傾向にある一方で、有効求職者数は増加傾向にある。今後新型コロナウイルス感染症拡大の第4波が懸念される中、雇用情勢は引き続き注意を要する状況にある。

こういった状況下においても、高齢者の就労促進は地域経済を支えるため喫緊の課題であることには論を待たない。また、地域においては、高齢者一人暮らし世帯への支援、子育て支援、介護予防への取組、空き家の適切な維持管理等への対応などこれまで以上の需要が見込まれる。このため、引き続き多様な地域ニーズや企業の求人状況などを適宜把握し、就業開拓を積極的に進めるとともに、行政機関と連携した公益的分野への進出・拡大も行い、請負・派遣の事業展開では、受注件数、契約金額、就業延人員とも前年度実績を上回るべく取り組んできたところである。

これを実現するためには、会員の拡大が基本的条件となるため、改正高齢法39条による業務拡大の活用及び高齢者活躍人材確保育成事業による就業体験、技能講習を通じた会員の確保を最重要課題として取り組んだところである。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和3年3月末で請負実績（契約金額）において2.4%減、派遣実績（契約金額）においては10.7%減、事業全体（契約金額）では3.9%の減となっている。

また、会員数については、新規加入者の確保と同時に退会希望者に対する個人面談、就業ニーズに応じた就業斡旋等退会抑止の対策を講じたところであるが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等もあり、全県で会員数が4.3%、人数にして155人減少している。

	会員数(人)	受注件数(件)	契約金額(円)	就業延人員(人)
令和2年度	3,457	27,043	1,202,414,600	271,154
令和元年度	3,612	28,429	1,251,502,422	292,594
前年比	▼ 155	▼ 1,386	▼ 49,087,822	▼ 21,440

#### 1 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業は、安全適正就業が基本であり、最優先課題として組織的に取り組みを進めてきた。

##### (1) 安全・適正就業推進委員会の開催

第1回

- ① 令和2年6月8日(月) 倉吉市 13名参加
- ② 令和元年度事故発生状況について
- ③ 令和元年度安全・適正就業対策推進事業実施状況について
- ④ 令和2年度安全・適正就業推進基本計画(案)について
- ⑤ 令和2年度安全・適正就業対策実施計画(案)について
- ⑥ 令和2年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領(案)について

第2回

- ① 令和3年2月17日(水) 倉吉市 13名参加
- ② 令和2年度事故発生状況について
- ③ 安全・適正就業推進事業の実施状況について
- ④ 令和3年度安全・適正就業推進事業基本計画(案)について

(2) 安全就業対策講習会

- ① 東部地区 令和2年10月29日(木) 参加者15名
- ② 中部地区 令和2年11月5日(木) 参加者16名
- ③ 西部地区 令和2年11月6日(金) 参加者20名

(3) 安全・適正指導者会議

- ① 東部地区(7月22日) 参加者6名
- ② 中部地区(7月17日) 参加者6名
- ③ 西部地区(7月28日) 参加者9名

(4) 安全パトロールの実施

・県下15回(対象就業会員124名)

(5) 安全・適正就業研修会の開催

令和2年7月20日(月) 倉吉市 参加者69名

- ① 安全就業標語入選者表彰
- ② 講話 「高齢者の生きがいと健康」  
倉吉市役所 長寿社会課 認知症地域支援推進員  
大久保美智子 氏
- ③ 事例発表 「会員の安全について」  
(公社) 岩美町シルバー人材センター 安全・適正就業開拓推進員  
川口耕司 氏
- ④ 事例発表 「安全就業について」  
(公社) 三朝町シルバー人材センター 理事長  
田渕忠昭 氏

⑤ 事例発表 「適正就業と安全の取組」

(公社) 南部広域シルバー人材センター 伯耆支所長

天場正実 氏

2 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、この事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を実施した。

連合会機関誌「会報鳥取」の発行

令和3年1月 500部

3 就業開拓事業

県内企業、官公庁・各種団体等を訪問し、多様な就業分野の開拓・拡大及び開拓した情報をセンターに提供し、県内全域の就業開拓及び調整を行った。

(1) 就業機会開発推進委員会の開催

令和2年8月7日(金) 倉吉市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

(2) 就業開拓推進員の配置

県内企業、官公庁等を訪問し就業機会の確保・提供及び新たな就業分野の開拓に努めた。 令和2年度 訪問件数 298件

(3) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

・県内企業及び官公庁等を訪問し、ホワイトカラー系の仕事を中心に就業開拓・情報提供に努めた。令和2年度 訪問件数 298件

4 交流研修事業

シルバー人材センター事業全般に亘っての理解と事業活動の充実、発展を図るため、センター役職員、実務担当者を対象に資質の向上と意識の高揚を図るため研修会等を実施した。

経験交流大会

(1) 令和2年10月30日(金) 倉吉市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

(2) 中国ブロック役職員研修会(開催県・山口県)

役職員研修会 令和2年11月18日～19日 山口市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

5 シルバー派遣事業

センター会員の就業・就労ニーズの多様化への対応と職域の拡大に加え適正就業の推進を図った。

(1) シルバー派遣事業運営委員会

第1回

令和2年8月4日（火） 倉吉市 16名参加

- ① 令和元年度派遣実績・配分手数料明細（年間）
- ② 令和元年度派遣事業報告書
- ③ 令和2年度派遣事業業績見込（配分手数料）
- ④ 令和2年度派遣事業収支計画書
- ⑤ 鳥取県シルバー派遣実績4ヶ年の推移
- ⑥ 新型コロナウイルスに伴う休業手当4月分

## 第2回

令和3年3月12日（金） 倉吉市 17名参加

- ① 令和2年度派遣実績・配分手数料見込
- ② 令和2年度派遣事業実績見込
- ③ 令和3年度派遣事業業績見込（配分手数料）
- ④ 令和3年度派遣事業計画書
- ⑤ 令和元年度～令和3年度見込実績比較一覧
- ⑥ 各センターの均等・均衡方式、労使協定方式一覧
- ⑦ 鳥取県シルバー派遣実績4ヶ年の推移
- ⑧ 令和3年1月末就業業績までの付与日数

## (2) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）

就業実人員	508人
就業延人数実績	43,305人日

## 6 シルバー事業支援要請行動

鳥取労働局、鳥取県及び鳥取県議会に対し連合会への支援要請文及び全シ協決議文を持参しシルバー人材センター事業への支援要請を行った。

令和2年9月2日（水）

## 7 シルバー人材センター指導（原則3年に一度実施）

高年齢者雇用安定法第47条に基づき、その設置目的に沿った運営がなされているかの指導。連合会事務局長が全シ協から指導員として委嘱されたことに基づき実施した。

令和2年11月11日（水）江府町シルバー人材センター

令和2年11月16日（月）岩美町シルバー人材センター

令和2年11月17日（火）境港市シルバー人材センター

令和2年11月24日（火）日南町シルバー人材センター

令和2年11月27日（金）湯梨浜町シルバー人材センター

令和2年12月10日（木）米子広域シルバー人材センター

※ 上記6センターのうち、米子広域シルバー人材センターを除く5センターについては、

新型コロナウイルス感染症拡大のため、各シルバー人材センターには出向かず、事前に提出された調査票及び各種書類審査により指導事業を実施した。

米子広域シルバー人材センターについては、実地に指導事業を実施した。

## 8 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー未加入の高齢者、職種転換希望若しくは昨年度1年間就業していないシルバー会員、また、シルバー会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業等を対象に、マスメディアを利用した周知・広報を実施するとともに、セミナー・技能講習を開催し、シルバー会員の拡大、シルバーを活用する企業等の増加に努めた。

(1) 周知・広報は、テレビ、ラジオ、新聞等により会員募集、各商工会議所広報紙等に広告を掲載し、仕事の募集等を実施した。

(2) セミナーは、東・中・西部地区で「整理収納セミナー」を開催する予定であったが、東部地区においては開催直前になって、新型コロナウイルスの影響で中止した。西部地区で2回(94名参加)、中部地区で1回(52名参加)の合計3回開催し、146名が受講した。

(3) 各技能講習は、東・中・西部地区で6種類、10講習を開催、合計で146名が受講した。

介護補助講習	1回	定員15人	受講者8人
調理補助スタッフ講習	1回	定員15人	受講者13人
傾聴スキル講習	2回	定員30人	受講者29人
整理収納基礎講習	3回	定員45人	受講者43人
草刈技能講習	2回	定員30人	受講者20人
草刈・剪定技能講習	1回	定員30人	受講者33人

上記の活動等で、49名(目標は34名)が入会した。(達成率144.1%)

## 9 諸会議の開催

(1) 理事会 6月4日(木)、11月6日(金)、3月19日(金)

(2) 定時総会 6月19日(金)